

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年12月1日 9時55分～12時30分

出席委員：立花委員長・佐伯委員・天谷委員・入谷委員・後藤委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成30年愛知県警察視閲式の実施	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2	愛知県警察音楽隊「ふれ愛コンサート」の開催		生活安全部長
3 報告	主要事件の検挙	刑事部	地 域 部 長 刑 事 部 長
4	交通死亡事故の連続発生に伴う緊急広報の実施	交通部	交 通 部 長 警 備 部 長
5	名鉄土橋駅におけるテロ対処合同訓練の実施	警備部	名古屋市警察部長 情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（10件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	苦情の調査結果		総 務 課 長
3 報告	平成30年警察運営の基本目標等（案）	警務部	警 務 課 長
4 報告	監察案件		首 席 監 察 官
5 決裁	犯罪抑止環境浄化推進地区指定のための公述人の選定	生活安全部	生活安全総務課長
6 決定	聴聞等の実施結果・決定 45件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

立花委員長が県議会出席のため、佐伯委員が代行を務め議事を進行した。
また、県議会終了後、立花委員長は審議に出席した。

1 全体審議

(1) 総務部

ア 平成30年愛知県警察視閲式の実施

総務部長から、

「治安維持の決意を新たにし、警察職員の士気高揚を図り、職員相互間の強固な団結力を養うとともに、県民の期待と信頼に応える強い警察の姿を示すため、平成30年1月10日（水）午前9時50分から、日本ガイスポーツプラザ駐車場において、平成30年愛知県警察視閲式実施する」旨の報告があった。

イ 愛知県警察音楽隊「ふれ愛コンサート」の開催

総務部長から、

「12月2日（土）午後1時から、日本特殊陶業市民会館において、県民の警察活動に対するより一層の理解と協力を確保するとともに、防犯意識や交通安全意識の向上を図るため、愛知県警察音楽隊による『ふれ愛コンサート』を開催する」旨の報告があった。

(2) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、

中国人被疑者らによる詐欺、偽造クレジットカード作成等事件の検挙概要について報告があった。

委員から、
「同種の犯罪は多いのか」
旨の質問があり、
刑事部長から、
「クレジットカードは便利な反面、悪用される危険も高く、同種の犯罪は多く潜在していると思われるので、引き続き検挙に努めていく」
旨の説明があった。

(3) 交通部

交通死亡事故の連続発生に伴う緊急広報の実施

交通部長から、
「厳しい交通死亡事故情勢に歯止めをかけるため、チラシ配布による高齢者への呼び掛けや、各種団体を通じたドライバーへの周知を図るなど、あらゆる広報媒体を活用した緊急広報を実施し、県民の危機意識の醸成と安全意識の高揚を図る」
旨の報告があった。

委員から、
「ワースト返上に向け、最後まで努力してほしい」
旨の発言があった。

(4) 警備部

名鉄土橋駅におけるテロ対処合同訓練の実施

警備部長から、
「12月7日（木）午後1時30分から、名鉄三河線土橋駅において、公共交通機関を対象としたテロ事案を想定した、関係機関との合同対処訓練を実施し、関係機関との連携強化及び総合的なテロ対処能力の向上を図る」
旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（10件）

公安委員会執務官から、
11月27日までに受理した公安委員会宛文書等10件
について報告があり、決裁した。

(2) 苦情の調査結果

総務課長から、
公安委員会宛の「犯罪捜査及び警察官の言動に関する苦情」について、
調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、原案どおり決裁した。

(3) 平成30年警察運営の基本目標等（案）

警務課長から、
平成30年警察運営の基本目標等（案）
の方針について再度説明があった。

委員から、
「基本目標等を達成するため、各部において具体的に推進することが重要であると思うので、重点項目を決め、しっかり取り組んでいただきたい」
旨の意見があった。

(4) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(5) 犯罪抑止環境浄化推進地区指定のための公述人の選定

生活安全総務課長から、

「愛知県安全なまちづくり条例第30条第2項の規定に基づき、犯罪抑止・環境浄化推進地区に関する公聴会を開催する公告をしたところ、公聴会に出席して意見を述べようとする9名から意見書の提出があったので、公聴人として選定する」

旨の説明があり、決裁した。

(6) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 45件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年12月8日 9時25分～12時30分

出席委員：立花委員長・佐伯委員・入谷委員・後藤委員・柘植委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成30年警察運営の基本目標等の策定（案）	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成29年11月末）	刑 事 部	
3	人質立てこもり事件全体訓練の実施		
4	主要事件の検挙		
5	交通事故の発生状況（平成29年11月末）	交 通 部	
6	岐阜県警と連携した交通街頭活動の実施		
7	遠隔型自動運転システムの公道実証実験の実施		
8	北朝鮮人権侵害問題啓発週間における施策の推進	警備部	

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（5件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	任期満了に伴う警察署協議会委員の委嘱		
3 裁定	犯罪被害者等給付金支給裁定（2件）	警務部	住民サービス課長
4 決裁	苦情の調査結果		
5 報告	監察案件		首席監察官
6 決裁	行政訴訟の発生及び応訴		
7 裁決	運転者区分決定に対する審査請求（2件）	訟 務 官	
8 決定	聴聞等の実施結果・決定 66件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

平成30年警察運営の基本目標等の策定（案）

警務部長から、

「平成30年警察運営の基本目標は、

『安心』して暮らせる『安全』な愛知の確立

とし、最重要課題を

暴力団の壊滅

交通死亡事故の抑止～減少傾向の定着～

犯罪の抑止

とする。

また、重要課題については、

繁華街・歓楽街の安全安心の確保に向けた総合対策の推進

サイバーセキュリティ戦略の推進

街頭活動の強化及び迅速的確な初動警察活動の推進

重要事件に対する検挙活動の強化

新たな刑事司法制度への対応等時代や情勢の変化に対応した捜査
の推進

大規模警備を見据えたテロ対策等警備諸対策の推進

大規模災害に対する総合的な諸対策の推進

ワークライフバランスの実現に向けた取組の推進

警察活動を支える人的・物的基盤の強化

とする」

旨の報告があった。

委員から、

「特に交通死亡事故抑止については、減少傾向を継続させるため、効果的な施策を推進してほしい」

「広報活動等によって、県民に交通ルールの正しい理解や具体的な防犯対策の実践を促してほしい」

「本年の現状を分析して、P D C A サイクルにより効果的な施策を推

進してほしい」
旨の発言があった。

(2) 刑事部

ア 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成29年11月末）

刑事部長から、平成29年11月末の刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前年同期との比較）について、

「 刑法犯の認知件数は60,539件で、3,518件減少した
刑法犯の検挙件数は19,875件で、1,415件減少した
刑法犯の検挙率は32.8パーセントで、0.4ポイント下降した
刑法犯の検挙人員は13,472人で、457人減少した
重要窃盗犯の認知件数は7,658件で、634件減少した
重要窃盗犯の検挙件数は3,796件で、107件減少した
重要窃盗犯の検挙率は49.6パーセントで、2.5ポイント上昇した
重要窃盗犯の検挙人員は578人で、66人増加した」

旨の報告があった。

イ 人質立てこもり事件全体訓練の実施

刑事部長から、

「12月11日（月）午後1時から、警察本部、愛知県警察学校等において、人質立てこもり事件全体訓練を実施し、人質立てこもり事件総合対策本部統括班による情報の一元化等の指揮能力の向上、現地指揮本部による銃器使用被疑者に対する対処能力の向上を図る」

旨の報告があった。

ウ 主要事件の検挙

刑事部長から、

暴力団組長らによる詐欺事件の検挙概要
について報告があった。

(3) 交通部

ア 交通事故の発生状況（平成29年11月末）

交通部長から、平成29年11月末の交通事故発生状況について、
「交通事故死者数は、11月中15人で前年同期と比べ11人減少した。
11月中の交通死亡事故の主な特徴は、
西三河の死者の発生割合が高い
21日（火）から29日（水）にかけて多発
で、11月末現在の交通死亡事故の主な特徴は、
高齢者死者の割合が高い
車両単独が減少
である。

12月中の主な取組は、
岐阜県警察と連携した交通街頭活動の実施
年末の交通安全県民運動の実施
警察本部スクランブル隊の警察署派遣
愛岐トンネル群における交通安全キャンペーンの実施
県内一斉取締りの実施
交通機動隊の集中運用
である」

旨の報告があった。

イ 岐阜県警と連携した交通街頭活動の実施

交通部長から、
「愛知県と岐阜県をつなぐ主要国道（3箇所）において、12月20日
（水）午前10時から、両県警合同による交通安全啓発活動を展開するこ
とにより、広く交通安全を呼びかけ、年末までの交通事故抑止に繋げる」
旨の報告があった。

委員から、
「他県警察との連携は重要なので続けてほしい」

旨の発言があった。

ウ 遠隔型自動運転システムの公道実証実験の実施

交通部長から、

「12月14日（木）、愛知県額田郡幸田町地内において、愛知県が主体となった遠隔型自動運転システムの公道実証実験が実施される予定であり、愛知県警察は、警察庁が示した『遠隔型自動運転システムの公道実証実験に係る道路使用許可の申請に対する取扱い基準』に基づき、実験の趣旨や安全確保装置等について確認し、交通の安全と円滑の確保に必要な条件を付した上で、道路使用の許可を行う」

旨の報告があった。

(4) 警備部

北朝鮮人権侵害問題啓発週間における施策の推進

警備部長から、

「12月10日（日）から16日（土）までの間は、拉致問題等についての関心と認識を深めるために設けられた、北朝鮮人権侵害問題啓発週間である。

警察では、

警察本部、警察署等での広報用ポスターの掲出

イベント会場、警察関係団体の会議会場における広報用チラシの配布

ケーブルテレビを活用した啓発活動

民放及び地域コミュニティラジオ放送を活用した啓発活動

県警ホームページ等による啓発活動

職員に対する教養

等を実施する予定である」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（５件）

公安委員会執務官から、

12月4日までに受理した公安委員会宛文書等5件について報告があり、公安委員会は「電話対応等に関する申出」、「警察官の言動に関する申出」、「犯罪捜査等に関する申出」及び「交番勤務員の対応等に関する申出」の4件を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 任期満了に伴う警察署協議会委員の委嘱

公安委員会執務官から、任期満了に伴う警察署協議会委員の委嘱について、「本年12月31日で任期満了となる44警察署協議会の委員について、各警察署から後任候補者として312人の推薦があり、そのうち、231人を委嘱する」

旨の報告とともに、

各警察署ごとの警察署協議会委員候補者一覧表の提示があり、審議し、決裁した。

(3) 犯罪被害者等給付金支給裁定（２件）

住民サービス課長から、

重傷病給付金支給裁定 1件

障害給付金支給裁定 1件

について説明があり、いずれも原案どおり裁定した。

(4) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、

公安委員会宛の「相談に関する苦情」について、調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明があり、原案どおり決裁した。

(5) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(6) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、
裁決取消請求事件の概要及び今後の応訴方針
について説明があり、決裁した。

(7) 運転者区分決定に対する審査請求（2件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求2件について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(6) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 66件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年12月15日 9時30分～11時55分

出席委員：立花委員長・佐伯委員・入谷委員・後藤委員・柘植委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	平成29年度第2回緊急配備訓練の実施	地域部	本 部 長 総 務 部 長
2	主要事件の検挙	刑事部	警 務 部 長 生活安全部長
3 報告	年末の交通安全県民運動期間中の交通事故発生状況	交通部	地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長
4	交通事故遺族の協力による広報啓発活動の実施		
5	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成29年11月中）	警備部	企画調整課長 情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
2 報告	警察署長会議の開催結果		
3 裁定	犯罪被害者等給付金支給裁定	警務部	住民サービス課長
4 決裁	犯罪被害者等給付金支給裁定に係る審査請求に対する国家公安委員会への弁明書等に提出		
5 報告	ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施	生活安全部	子ども女性安全対策課長
6 決定	聴聞等の実施結果・決定 56件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 地域部

平成29年度第2回緊急配備訓練の実施

地域部長から、

「通信指令室、管轄警察署及び執行隊の連携による初動対応能力の一層の向上を図ることを目的として、12月22日（金）午後1時30分から尾張地域において、緊急配備訓練を実施する」

旨の報告があった。

(2) 刑事部

主要事件の検挙

刑事部長から、

マレーシア人グループによる偽造クレジットカード所持事件の検挙概要について報告があった。

委員から、

「組織の解明を徹底してほしい」

旨の発言があった。

(3) 交通部

ア 年末の交通安全県民運動期間中の交通事故発生状況

交通部長から、12月1日（金）から10日（日）までの10日間の年末の交通安全県民運動期間中の交通事故発生状況について、

「交通事故死者数は8人で、前年と比べ1人減少した。

交通死亡事故の特徴は、

土日に発生が集中
業務目的の車両が関係する事故が多発
高齢者の被害が多発

である。

今後の取組は、

本部フェニックス隊の運用
愛知県安全運転管理協議会に対する書簡の発出
愛知県と連携した反射材キャンペーンの実施
岐阜県警と合同による交通事故抑止作戦の実施

である」

旨の報告があった。

委員から、

「業務目的の車両が関係する事故が多発しているとのことだが、何か対策はとっているのか」

旨の質問があり、

交通部長から、

「企業の安全運転管理者に対して指導を行うことと、安全運転管理協議会から企業に対し指導を行うことの2本立てで対策を講じている」

旨の説明があった。

イ 交通事故遺族の協力による広報啓発活動の実施

交通部長から、

「交通事故遺族の協力を得て、ながらスマホの危険性を訴える動画による交通安全メッセージ～交通遺族の声『ながらスマホSTOP』～を作成し、YouTube（ユーチューブ）愛知県警察公式チャンネルにより動画配信することで、感銘力の高い広報啓発活動を実施する」

旨の報告があった。

委員から、

「非常にインパクトがあり、効果も高いと思うので、是非多くの人に見てほしい」

旨の発言があった。

(4) 警備部

行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成29年11月中）

警備部長から、11月中の行進又は集団示威運動に関する条例の取扱状況について、

「10件の許可申請を受理し、全て許可した」旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（2件）

公安委員会執務官から、

12月11日までに受理した公安委員会宛文書等2件について報告があり、公安委員会は「犯罪捜査に関する申出」を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 警察署長会議の開催結果

公安委員会執務官から、警察署長会議の開催結果について、

「12月8日（金）、警察本部講堂において、警察署長会議が開催され、愛知県公安委員会委員長の挨拶に続き、本部長から、最重要課題である

暴力団の壊滅

交通死亡事故の抑止

犯罪の抑止

等についての訓示があり、その後、各部長等から推進事項に関する指示が行われた」

旨の報告があった。

(3) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、
重傷病給付金支給裁定 1件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定に係る審査請求に対する国家公安委員会への
弁明書等の提出

住民サービス課長から、
「平成29年7月7日に行った障害給付金支給裁定について、当該給付金
申請者が国家公安委員会に対して行った審査請求に対して、国家公安委員
会へ弁明書等を提出する」
旨の報告及び弁明書案等の提示があり、原案どおり決裁した。

(5) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告等の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に
基づく警告等の実施について、
「平成29年11月中は、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づき、
押し掛け等を理由に禁止命令を2件実施した。
また、待ち伏せ、面会等要求、粗野乱暴な言動、連続メール等を理由に
37件の警告を実施した」
旨の報告があった。

(6) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 54件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 2件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成29年12月22日 9時00分～13時15分

出席委員：立花委員長・佐伯委員・入谷委員・後藤委員・柘植委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	総合広報誌「View 愛知のまもり」平成30年版の発行	総務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部 長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部 長 情報通信部 長
2	1月の行事予定	警務部	
3	初詣に伴う雑踏警備の実施	地域部	
4	平成30年「110番の日」広報活動の実施		
5	交通死亡事故多発警報発令（3回目）に伴う対策の強化	交通部	
6	放置違反金収納事務に係るコンビニ等への委託の開始		
7	警護警備の実施		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
2	決裁 激励の上申		
3	決裁 警察署協議会委員の辞職に伴う委嘱（2件）		
4	裁定 犯罪被害者等給付金支給裁定	警務部	住民サービス課長
5	決裁 苦情の調査結果（2件）		
6	報告 監察案件		首席監察官
7	報告 平成29年度秋の業務監察実施結果		
8	報告 平成29年度術科監察の実施		
9	決裁 行政訴訟の発生及び応訴		
10	裁決 運転者区分決定に対する審査請求（2件）		訟 務 官
11	裁決 運転免許取消処分に対する審査請求		
12	裁決 放置違反金納付命令に対する審査請求		
13	報告 「あいち地域安全戦略2020」（案）の策定		生活安全部
14	決裁 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部改正（案）		保安課長
15	報告 検視立会医に対する謝金の支出漏れ等に関する調査結果	刑事部	捜査第一課長
16	決裁 愛知県公安委員会規則の一部改正	交通部	放置駐車対策センター所長
17	報告 警察職員の援助派遣	警備部	警備課長
18	決定 聴聞等の実施結果・決定 70件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

総合広報誌「View 愛知のまもり」平成30年版の発行

総務部長から、

「県民に愛知県警察の基本方針や活動の実態をわかりやすく紹介し、警察への理解と協力を得るとともに、警察官及び警察職員の採用勧奨活動にも活用するため、総合広報誌『View 愛知のまもり』平成30年版を発行する」旨の報告があった。

(2) 警務部

1月の行事予定

警務部長から、

1月の行事予定
について報告があった。

(3) 地域部

ア 初詣に伴う雑踏警備の実施

地域部長から、

「年末年始は、初詣のため神社、仏閣等に多数の人出が予想され、雑踏事故の発生が懸念されるほか、これに伴う各種犯罪、交通事故等の発生も予想されることから、12月31日（日）から平成30年1月3日（水）までの4日間、雑踏警備を実施し、雑踏事故等の絶無を期す」旨の報告があった。

イ 平成30年「110番の日」広報活動の実施

地域部長から、

「平成30年1月10日の『110番の日』を中心に広報活動を展開し、110番通報制度に対する県民の一層の理解と協力を求める」旨の報告があった。

委員から、

「不要不急な110番の弊害を抑制するため、110番をしないでもいいケースを、具体的に示した方がよいのではないか」旨の発言があった。

(4) 交通部

ア 交通死亡事故多発警報発令（3回目）に伴う対策の強化

交通部長から、

「12月18日に愛知県知事により本年3回目の交通死亡事故多発警報が発令されたことに伴い、交通指導取締り活動を始めとした街頭活動等を強化し、連続発生する交通死亡事故に歯止めを掛ける」旨の報告があった。

イ 放置違反金収納事務に係るコンビニ等への委託の開始

交通部長から、

「放置違反金の未収金解消対策の一環として、コンビニエンスストア等に放置違反金の収納事務を委託し、収納場所及び収納時間を拡大することにより、任意納付の促進を図る」旨の報告があった。

委員から、

「委託先に対し、守秘義務についての注意を促す必要があるではないか」旨の発言があった。

(5) 警備部

警護警備の実施

警備部長から、
警護警備の実施
について報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（2件）

公安委員会執務官から、
12月18日までに受理した公安委員会宛文書等2件
について報告があり、決裁した。

(2) 激励の上申

公安委員会執務官から、
マレーシア人グループによる偽造クレジットカード所持等事件捜査班
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(3) 警察署協議会委員の辞職に伴う委嘱（2件）

公安委員会執務官から、
警察署協議会委員の辞職及び委嘱2件
について報告があり、2警察署協議会委員2人の辞職及び後任者2人の委嘱
について決裁した。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定

住民サービス課長から、
遺族給付金支給裁定 1件
について説明があり、原案どおり裁定した。

(5) 苦情の調査結果（2件）

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「犯罪捜査に関する苦情」及び「銃砲所持許可申請に関する苦情」の2件について、調査結果の報告及び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、いずれも原案どおり決裁した。

(6) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

委員から、
「今の若者の気質に合った指導が必要である」
「個人のミスを組織でカバーできるとよい」
旨の発言があった。

(7) 平成29年度秋の業務監察実施結果

首席監察官から、
平成29年度における秋の業務監察の実施結果
について報告があった。

(8) 平成29年度術科監察の実施

首席監察官から、
「平成30年1月29日（月）から2月28日（水）までの間、全警察署において平成29年度の術科監察を実施する」
旨の報告があった。

(9) 行政訴訟の発生及び応訴

訟務官から、
免許取消処分取消請求事件及び同処分に係る執行停止申立事件の概要並びに今後の応訴方針
について説明があり、決裁した。

(10) 運転者区分決定に対する審査請求（2件）

訟務官から、運転者区分決定に対する審査請求2件について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、いずれも原案どおり裁決した。

(11) 運転免許取消処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許取消処分に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(12) 放置違反金納付命令に対する審査請求

訟務官から、放置違反金納付命令に対する審査請求について、
請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり裁決した。

(13) 「あいち地域安全戦略2020」（案）の策定

生活安全総務課長から、

「愛知県では、平成18年以降、4次にわたり、短期・集中的な3年ごとの地域安全戦略を策定し、県民総ぐるみで安全にまちづくりに取り組んでいるが、現行の『あいち地域安全戦略2017』の戦略期間が本年度で満了となることから、『あいち地域安全戦略2020』を策定し、引き続き強力な取組を展開していく」

旨の報告があった。

(14) 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例の一部改正(案)

保安課長から、

「平成30年4月1日に都市計画法の一部を改正する法律及び介護保険法の一部を改正する法律の施行に伴い、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行条例に規定する営業所の設置制限地域に田園住居地域を追加し、特定遊興飲食店営業の保全対象施設に介護医療院を追加する」

旨の説明があり、決裁した。

(15) 検視立会医に対する謝金の支出漏れ等に関する調査結果

捜査第一課長から、

検視立会医に対する謝金の支出漏れ等に関する調査結果について報告があった。

(16) 愛知県公安委員会規則の一部改正

放置駐車対策センター長から、

「平成30年1月から、放置違反金収納事務の取り扱いをコンビニエンスストア等において運用開始することに伴い、放置違反金に係る納付命令等に関する規則（平成18年愛知県公安委員会規則第6号）の一部を改正する」旨の説明があり、決裁した。

(17) 警察職員の援助派遣

警備課長から、

「福井県公安委員会及び福島県公安委員会から、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項に基づく援助要求があり、それぞれ必要な警察職員を派遣する」

旨の報告があった。

(18) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 68件

風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 2件

について報告があり、行政処分を決定した。